

平成 29 年 12 月 4 日

国土交通省  
九州地方整備局  
大分河川国道事務所

## 記者発表資料

## 「ICT土工セミナー(勉強会)」を開催します。

～ i-Constructionで建設現場が変わります！～

九州地方整備局では、建設現場の生産性向上を図る「i-Construction」の取り組みとして、起工測量、施工、監督・検査時の一連のステップで ICTを活用する工事を推進しているところです。

今回、国土交通省 大分河川国道事務所発注の『国分地区河道掘削(その2)工事』において、当事務所発注工事の現場代理人等を対象に下記のとおり、「ICT土工セミナー」を開催します。

今回のセミナーは、現在稼働中の河川工事の施工現場において活用しているICT技術に関する知見を深め、今後、建設業界において、進んでいくICT技術の活用を円滑に行うための手立てとなることを目的としています。

- 開催日 平成29年12月6日(水) 13時30分～16時00分
- 場 所 大分市大字国分(国分橋左岸側河川敷)
- 参加者 当事務所発注工事の現場代理人等、30名程度を予定
- 発注者 国土交通省 大分河川国道事務所
- 施工者 (株)佐伯建設
- 取材等 報道関係者の取材は可能です。
- 内 容
  - ・ 工事概要(活用中のICT技術・経過の説明)
  - ・ 国土交通省が提唱するi-Constructionの流れ
  - ・ 当現場と各地現場で直面した問題点・解決策紹介
  - ・ UAV機器の説明
  - ・ ICT建設機械の説明 等

「i-Construction」とは、「ICTの全面的な活用(ICT 土工)」等の施策を建設現場に導入することによって、建設生産システム全体の生産性向上を図り、もって魅力ある建設現場を目指す取組

ICT (Information and Communication Technology) とは、「情報通信技術」の略

《問い合わせ先》

■ 国土交通省 大分河川国道事務所

技術副所長(河川)  
工務第一課長

TEL 097-544-4167(代表)

FAX 097-546-4165

太田 信也  
関 信彰

# ICT技術の全面的な活用(土工)

## ①ドローン等による3次元測量



ドローン等による写真測量等により、短時間で面的(高密度)な3次元測量を実施。

## ②3次元測量データによる設計・施工計画



## ③ICT建設機械による施工

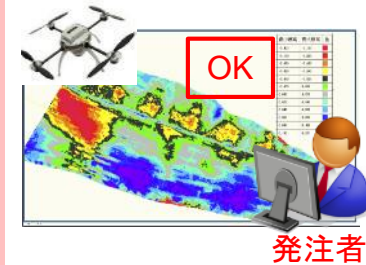
3次元設計データ等により、ICT建設機械を自動制御し、建設現場のIoT(\*)を実施。



\*IoT(Internet of Things)とは、様々なモノにセンサーなどが付され、ネットワークにつながる状態のこと。

## ④検査の省力化

ドローン等による3次元測量を活用した検査等により、出来形の書類が不要となり、検査項目が半減。



発注者

i-Construction

測量

設計・  
施工計画

施工

検査

これまでの情報化施工の部分的試行

①

②

3次元  
データ作成

③

・重機の日当たり  
施工量約1.5倍  
・作業員 約1/3

2次元  
データ作成

④

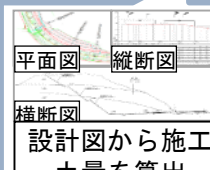
従来方法

測量

設計・  
施工計画

施工

検査



# 開催場所

当日は、現場（左岸側）が稼動中でダンプトラックが多数走行中であるため、駐車場は右岸側を予定しております。

